



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 山一電機株式会社

コード番号 6941 URL <http://www.yamaichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田佳孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員経理部長 (氏名) 加藤勝市

TEL 03-3734-0171

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,770	14.9	1,519	256.2	1,566	144.2	1,343	160.6
26年3月期第2四半期	11,113	5.8	426	—	641	—	515	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,618百万円 (119.2%) 26年3月期第2四半期 738百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	57.71	—
26年3月期第2四半期	22.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	26,040	15,386	59.0	659.90
26年3月期	23,582	13,482	57.1	578.27

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 15,367百万円 26年3月期 13,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年11月7日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	13.4	2,100	160.2	2,050	58.6	1,650	70.1	70.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月7日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	23,289,775 株	26年3月期	23,289,775 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,790 株	26年3月期	2,790 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	23,286,985 株	26年3月期2Q	23,286,985 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営環境は、米国経済が雇用環境や個人消費の改善等を背景に回復傾向にあるものの、中国や新興国の減速懸念や欧州での地政学リスクなど不透明な状況が続きました。国内においては、設備投資の増加や雇用環境の改善が進むなか、消費税引き上げに伴い減少している個人消費にも持ち直す動きが見られるなど、全般としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの関連する半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォン市場は海外需要を中心に引き続き好調に推移し、自動車関連や設備投資関連市場も堅調に推移いたしました。しかしながら、薄型テレビ、デジタルカメラやパソコンなどのコンシューマ機器向け需要は総じて低調な推移となりました。

このような状況のもと当社グループは、「事業構造改革」に取り組み、グループ会社全体での連携を強化し、業務の効率化を図り、さらなる固定費削減に取り組んでおります。また、テストソリューション事業、コネクタソリューション事業および光関連事業の3事業に経営資源を集中し、お客様が満足する製品・サービスを提供するため、グローバルでの地域・市場・顧客・製品別の成長戦略を策定・実行し、持続的成長と収益力の向上に向けた活動を進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、テストソリューション事業とコネクタソリューション事業が増収になったことから12,770百万円（前年同期比14.9%増）となりました。利益面でも、増収による効果、構造改革の推進による収益構造の改善や不採算事業からの撤退などにより、営業利益は1,519百万円（前年同期比256.2%増）、経常利益は1,566百万円（前年同期比144.2%増）、四半期純利益は1,343百万円（前年同期比160.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

モバイル機器向け半導体需要が大幅に伸長したことにより半導体検査用バーンインソケット製品やテストソケット製品の販売は好調な推移となりました。また、自動車のエレクトロニクス化の進展を受け車載向け半導体検査用バーンインソケット製品も堅調な推移となりました。

その結果、売上高5,768百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益1,095百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

[コネクタソリューション事業]

国内市場においては、アミューズメント・車載機器向けYFLFX製品、プリンタ・複合機・車載機器向けコネクタ製品等が比較的堅調に推移いたしました。また、北米市場では通信インフラ向けコネクタ製品を中心に堅調に推移し、欧州市場では産業機器向けコネクタ製品を中心に拡販することができました。

その結果、売上高6,412百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益333百万円（前年同期は営業損失128百万円）となりました。

[光関連事業]

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ等の映像機器向け薄膜フィルタ製品は低調な推移となりましたが、医療機器向けおよび光通信向け薄膜フィルタ製品は比較的堅調に推移いたしました。

その結果、売上高589百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益12百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、26,040百万円（前期末比2,457百万円増）となりました。

流動資産は、売上高の増加により受取手形及び売掛金が増加したことなどから1,443百万円増加し、13,705百万円となりました。

有形固定資産は、金型を取得したことなどから35百万円増加し、9,138百万円となりました。

投資その他の資産は、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の見直しにより退職給付に係る資産が増加したことなどから956百万円増加し、3,092百万円となりました。

負債合計につきましては、10,654百万円（前期末比553百万円増）となりました。

流動負債は、売上高の増加に伴い支払手形及び買掛金が増加したことなどから245百万円増加し、8,857百万円となりました。

固定負債は、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の見直しに伴い繰延税金負債が増加したことなどから308百万円増加し、1,796百万円となりました。

純資産合計につきましては、15,386百万円（前期末比1,904百万円増）となりました。

株主資本は、期末配当の実施により減少したものの、四半期純利益を計上したこと並びに退職給付債務及び勤務費用の計算方法の見直しに伴い利益剰余金が増加したことなどから1,626百万円増加し、15,710百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を計上したことなどから165百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金は5,037百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は1,169百万円（前年同期比18.5%減）となりました。これは主に法人税等の支払額が増加したものの、税金等調整前四半期純利益を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は651百万円（前年同期は0.3百万円の使用）となりました。これは主に金型等の有形固定資産の取得があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は443百万円（前年同期比39.8%減）となりました。これは主に借入金等の返済及び配当金の支払いがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日の公表時に未定といたしました平成27年3月期通期の連結業績予想につきまして、本日公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金及び繰延税金負債に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が619,975千円、利益剰余金が399,264千円及び繰延税金負債が220,711千円、それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,890,952	5,144,919
受取手形及び売掛金	3,943,119	4,769,555
商品及び製品	1,241,731	1,229,617
仕掛品	226,183	299,609
原材料及び貯蔵品	1,332,222	1,431,462
繰延税金資産	53,288	83,178
その他	583,656	758,518
貸倒引当金	△10,018	△11,823
流動資産合計	12,261,134	13,705,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,775,372	2,777,505
機械装置及び運搬具(純額)	1,209,221	1,211,073
工具、器具及び備品(純額)	1,434,748	1,517,010
土地	3,437,510	3,440,330
リース資産(純額)	60,350	58,590
建設仮勘定	186,427	134,349
有形固定資産合計	9,103,631	9,138,860
無形固定資産	77,087	99,655
投資その他の資産		
投資有価証券	1,627,780	1,902,072
繰延税金資産	118,637	164,899
退職給付に係る資産	170,507	788,162
その他	254,666	274,506
貸倒引当金	△35,183	△36,828
投資その他の資産合計	2,136,407	3,092,812
固定資産合計	11,317,127	12,331,328
繰延資産	4,659	4,228
資産合計	23,582,921	26,040,595

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,447	1,695,788
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
短期借入金	4,898,480	4,860,760
未払法人税等	119,862	194,413
賞与引当金	163,895	225,034
役員賞与引当金	—	40,000
繰延税金負債	67,258	80,417
その他	1,806,092	1,726,162
流動負債合計	8,612,036	8,857,577
固定負債		
社債	162,500	145,000
長期借入金	428,740	586,960
役員退職慰労引当金	62,689	61,776
退職給付に係る負債	32,225	49,466
資産除去債務	18,311	18,521
繰延税金負債	239,492	557,889
その他	544,871	377,218
固定負債合計	1,488,830	1,796,833
負債合計	10,100,867	10,654,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,047,063	10,047,063
資本剰余金	1,586,633	1,586,633
利益剰余金	2,454,079	4,080,900
自己株式	△3,754	△3,754
株主資本合計	14,084,022	15,710,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,945	589,487
為替換算調整勘定	△926,748	△831,744
退職給付に係る調整累計額	△105,111	△101,556
その他の包括利益累計額合計	△617,915	△343,814
新株予約権	—	3,216
少数株主持分	15,946	15,940
純資産合計	13,482,053	15,386,185
負債純資産合計	23,582,921	26,040,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,113,984	12,770,832
売上原価	7,919,825	8,397,064
売上総利益	3,194,159	4,373,767
販売費及び一般管理費		
給料	1,286,761	1,365,313
賞与	57,416	102,523
福利厚生費	208,995	198,604
運賃諸掛	143,720	147,533
旅費及び交通費	89,474	92,741
減価償却費	80,529	66,528
支払手数料	123,755	110,936
賃借料	188,250	180,508
雑費	588,774	589,888
販売費及び一般管理費合計	2,767,677	2,854,579
営業利益	426,481	1,519,187
営業外収益		
受取利息	4,199	2,490
受取配当金	26,026	21,499
為替差益	243,644	72,244
持分法による投資利益	—	549
スクラップ売却益	32,321	17,031
助成金収入	19,800	10,234
その他	37,557	36,269
営業外収益合計	363,550	160,321
営業外費用		
支払利息	86,803	65,690
持分法による投資損失	5,107	—
その他	56,758	47,361
営業外費用合計	148,669	113,052
経常利益	641,362	1,566,456
特別利益		
固定資産売却益	32,389	6,632
特別利益合計	32,389	6,632
特別損失		
固定資産売却損	—	175
特別損失合計	—	175
税金等調整前四半期純利益	673,752	1,572,913
法人税、住民税及び事業税	154,926	291,900
法人税等調整額	3,742	△62,972
法人税等合計	158,669	228,928
少数株主損益調整前四半期純利益	515,083	1,343,984
少数株主損失(△)	△727	△6
四半期純利益	515,811	1,343,991

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	515,083	1,343,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,230	175,541
為替換算調整勘定	52,262	101,023
退職給付に係る調整額	—	3,555
持分法適用会社に対する持分相当額	19,483	△6,019
その他の包括利益合計	222,976	274,101
四半期包括利益	738,059	1,618,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,660	1,618,092
少数株主に係る四半期包括利益	△600	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	673,752	1,572,913
減価償却費	638,180	632,042
受取利息及び受取配当金	△30,226	△23,990
支払利息	86,803	65,690
為替差損益(△は益)	△228,181	△92,043
売上債権の増減額(△は増加)	160,110	△720,849
たな卸資産の増減額(△は増加)	317,581	△81,028
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,348	164,843
その他	127,481	△27,892
小計	1,744,153	1,489,686
利息及び配当金の受取額	34,705	24,012
利息の支払額	△89,230	△63,615
特別退職金の支払額	△163,577	△67,554
法人税等の支払額	△91,808	△213,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,434,243	1,169,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,504,023	△531,435
有形固定資産の売却による収入	1,146,667	14,256
その他	357,007	△134,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348	△651,666
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△376,780	△151,450
長期借入れによる収入	150,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△322,800	△289,280
セール・アンド・リースバックによる収入	159,985	—
配当金の支払額	—	△115,053
その他	△346,723	△287,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△736,318	△443,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,058	91,205
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	741,635	165,766
現金及び現金同等物の期首残高	3,795,780	4,871,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,537,415	5,037,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	テストソリ ューション 事業	コネクタソ リューショ ン事業	光関連事業	EMS事業 (注) 2	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,827,273	5,522,652	567,327	196,354	11,113,608	375	11,113,984	—	11,113,984
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	14,571	14,571	△14,571	—
計	4,827,273	5,522,652	567,327	196,354	11,113,608	14,946	11,128,555	△14,571	11,113,984
セグメント利益 又は損失(△)	731,909	△128,697	18,717	△80,132	541,796	580	542,376	△115,895	426,481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス事業等を含んでおります。

2. EMS事業はプライコンマイクロエレクトロニクスINC.については平成25年6月28日に当事業を譲渡し、また、マティ株式会社については平成25年6月10日をもって終息し、第1四半期連結累計期間をもって当事業から撤退いたしました。そのため、当第2四半期連結会計期間においては、マティ株式会社の清算に係る取引のみ行っております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用△41,010千円及び連結調整額△74,884千円であり、全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。なお、平成25年6月26日の組織変更に伴い、当第2四半期連結会計期間の研究開発費は各報告セグメントに含まれております。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注) 2				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	テストソリ ューション 事業	コネクタソ リューショ ン事業	光関連事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,768,263	6,412,696	589,814	12,770,775	56	12,770,832	—	12,770,832
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	4,715	4,715	△4,715	—
計	5,768,263	6,412,696	589,814	12,770,775	4,772	12,775,548	△4,715	12,770,832
セグメント利益 又は損失(△)	1,095,231	333,897	12,286	1,441,415	△380	1,441,034	78,152	1,519,187

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス事業等を含んでおります。

2. EMS事業は前連結会計年度をもって撤退しております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内訳は、未実現利益の消去20,488千円であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。